

2013-14 年度 R I テーマ



入間ロータリークラブ



- 2013-2014 R I 会長：ロン D. パートン
- R I 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
- 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケット・ホール
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：関谷 永久 ■ 当番：諸井 克彦
- 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
Email: iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 41 号 2810 回例会 2014 年 4 月 24 日 (木)

●●● 会長の時間 友野政彦会長

本日は第 5 回クラブ協議会が行われます。次年度の役員の方々に 20 日の地区研修協議会の報告をしていただくことになっています。また一昨日には現・新理事会が開催され、次年度予算が承認されています。

さて、昨日オバマ大統領が来日し今夜には宮中晩さん会が開かれます。気になるのは首脳会談の成果です。最大の議題となる TPP に関しては昨日まで二国間の関税協議が難航していました。日本側が「聖域」とする農産品 5 項目のうち、アメリカは米・麦・砂糖については関税撤廃を求めない代わりに牛・豚肉とバター等で大幅な引き下げを要求しているとのこと。両首脳の決断によってアジア太平洋地域における新しい経済の秩序を築いてほしいものです。これは最終的に安全保障にも結び付くのではないかと思います。

個人的には日本医師会が TPP 参加による「国民皆保険の崩壊」を危惧しているのが気になります。TPP は直接的には医療に言及してないのに、なぜ「国民皆保険の崩壊」なのでしょう。

過去日米二国間協議において、古くは中曽根内閣の頃からアメリカは日本の医療市場の開放を要求してきた経緯があります。「混合診療の全面解禁」と「株式会社による医療機関経営」は要求の定番でした。今回も手順として、まずアメリカが TPP を契機に混合診療の解禁を要求してくることが予想されました。現在はすべて保険診療であるため三割負担ですが、もしそれに加えて自由診療で保険外の治療を受けたり薬を用いたりすると全額自己負担となります。混合診療とは、保険診療と自由診療の併用を言い、合理的にも思えます。しかし混合診療が認められ、新しい治療法・新しい薬で保険適用外となるものが増えれば、その部分は自己負担です。高額な医療費を支払うのに備えて国民はアメリカのように民間の医療保険にも加入せざるを得なくなり、そこに外資系の保険会社

が参入してくる構図が考えられます。そして経済的に余裕がなく、民間の医療保険に加入できない人は最新の医療は受けられず、ここに医療格差が生じることになります。しかし昨年アメリカの要求は医薬品の価格算定への関与に絞られるようになりました。正面突破が難しいので、もっと早く自国の医薬品メーカーの利益を確保できる方を優先したのかもわかりません。何れにせよ、全ての国民が同様に質の高い医療を受けることができる国民皆保険こそ、守るべき価値のある国益ではないかと思います。

● 幹事報告 西山祐三幹事

1. ネパール里親支援金 352,600 円 & 世界寺子屋・環境保全運動支援金 85,512 円送付済み
2. 来週 5/1 の例会はお休みです。

<出席報告> 木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40 名	26 名	65.0%	71.8%

事前欠席連絡 8 名

<ニコニコBOX> 滝沢文夫 S A A

斉藤福太郎君、石川嘉彦君、加藤国夫君～入間南合同例会では行司の木村庄太郎様に名前を書けていただきました。吉永章子君～地区研修協議会後の家庭集会有意義でした。

本日 ¥8,000 累計 ¥792,000

■ 回覧、配布物

- ① ハイライト よねやま 169
- ② 学友会ニュース 第 183 号
- ③ 中井ガバナーよりバブコメの中間報告
- ④ 5/22 日帰り美術館出欠表
- ⑤ 原田義之様からのお礼状
- ⑥ 入間市社会福祉協議会会長就任・退任挨拶状
- ⑦ 会員出席状況 (H. 25 年 7 月～H. 26 年 4/23 現在)
- ⑧ 他クラブ週報 & 例会変更のお知らせ
- ⑨ 週報 39, 40 合併号

■■■第5回クラブ協議会（地区研修協議会報告）■■■

●加藤国夫エレクト

会長部会は第一本会議にて10時点鐘、坂元ガバナーエレクト挨拶、来賓挨拶と続き次年度役員紹介があり、目標と指針・次年度分担金及び予算の承認の件でしたが52クラブ中43クラブの賛成により承認されました。午前中一部会が終了。午後から「部門別研修会」立原雅夫・地区研修リーダーの話の中、効果的クラブ運営。一年間の会長の時間を使いクラブに還元できるようなことを提案していく。クラブは単年度計画ではあるが、最近では単年度ではあるがその中、長期的な計画を立てるようにCLP研修では進めている。(当クラブではCLP採用はしていない)。

人間クラブでは次年度事業として「一般的教育支援」未来の宝でもある、市内全域を対象とした児童、生徒の教育的支援を行っていきますのでご協力お願いいたします。

●滝沢文夫 次年度幹事

研修・協議会に出席して、まず会場ではホストクラブの皆様スタッフジャンパーにてお迎えをして頂きました。次年度の社会奉仕活動時にスタッフジャンパー等で活動すれば広報にも繋がるので欲しいものだと思いますが、予算の事もありますので今は欲しいとだけ申し上げておきます。

午後からの幹事部会に参加者は、52クラブ全てが出席しているわけではありませんでしたが、初めて幹事職に付く人は29名でした。中には2度目、3度目、会長経験者やガバナー補佐経験者もいらして皆様、ロータリーをよく知り楽しんでいらっしやる方々だと思いました。

部会では、幹事としての心得等の話がありましたが、幹事はまず会長を補佐することはもちろんですが、地区からの各文書等をよく読み理解して下さいとの事でした。その為にも、手続要覧を熟読し、誰よりもロータリーを理解するようにと教えていただきました。幹事職をするとロータリーのことをよくわかると言われるのはこの、手続要覧の熟読と理解にあるのだと認識しました。会長を補佐することは勿論ですが、皆様の援助を頂きながら1年間幹事としてクラブのために頑張る所存ですのでよろしくお願いいたします。

●西山祐三 次年度クラブ奉仕委員長

先日の地区研修協議会に所用があり欠席致しました。代わりに荒井正武会員にご出席頂きました。

クラブ奉仕部門委員長の渋澤健司様による今年度活動計画方針は

1. 会員増強・公共イメージ委員会 各年2回のセミナー実施
2. 会員増強目標 各クラブ純増1名以上
3. 女性会員数 各クラブ純増1名以上
4. 地区開催セミナー参加対象者全員出席を目指す
5. 公共イメージアップ作戦を他地区連携で行う

6. 「職業奉仕」ネットワーク構築による、会員増強手法の調査研究を行う

7. 各クラブの要望に対してのセミナー開催を行う
色々な活動計画がありますが、やはり会員増強が主な計画であろうかと思われます。

●新井格 次年度国際奉仕委員長

国際奉仕部門は、新島委員長と真下研修リーダーのもとに研修を行いました。委員長からは、本部門は国際交流と国際支援の二本の分野からなり、最もロータリーらしくダイナミックな活動が出来るのお話がありました。また非日常の感動を味わえる部門であり、そのためには日常から一歩踏み出す必要がある事が力説されました。

1. 国際交流は、①海外クラブとの姉妹提携②日豪青年相互訪問プログラムがあり、「出会いの喜び」や別れの「感動の涙」が味わえる分野です。
2. 国際支援は、①学校に通えない子供たちに対する教育支援である「寺子屋運動」と②生きていく上での最低限の飲料水の確保や地雷で負傷した子供たちへの支援である「環境保全運動」に大別されます。

世界の貧しい地域では、日本での1万円が10倍15倍の価値を持ち、想像以上のダイナミックな活動支援の醍醐味を実感できます。国際奉仕活動での感動がクラブを元気にし、活性化する事を信じているとお話で研修は幕を閉じました。

●吉沢誠十 次年度青少年奉仕委員長

ロータリーで言う青少年奉仕の対象年は12歳中学生から30歳までの高校生、大学生、社会人の若者です。RIでは5大奉仕部門に格上げして若い青少年達へ奉仕してゆく事に大きな力を注いでいます。

アクト委員会、青少年交換委員会、ライラ委員会、高校生社会体験活動委員会の4小委員会で構成されています。アクト委員会ではクラブの活性化、青少年交換委員会ではホストファミリーの不足、ライラ委員会ではライラ参加人数の課題があり、高校生社会体験活動委員会は埼玉県より就業体験の依頼を受けています。



会報委員会（関谷・平岡・忽滑谷）